

様式代号(第5条関係)

平成22年12月6日

政務調査報告書

栗山町議会議長 橋場 利勝 様

栗山町議会議員 大平 逸男

このたび、政務調査のため出張しましたので次とおり報告します。

日 時	平成 22 年 12 月 6 日
視 察 先	山梨県身延町飯富 身延町早川町組合立飯富病院
視 察 項 目	一部事務組合立病院飯富病院の設立経過及び実態について
説 明 員	飯富病院名誉院長 長田 忠孝氏
視 察 内 容	<p>飯富病院の基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達飯富病院は病院解説以来継続した、無医地区への出張診療と歴史を尊重し、今後も継続、発展させます。 ・私達飯富病院の職員は病院を利用する人達、地域の人達とおなじ地平に立ち、同じ目の高さで考えはなします。地域の人達はよき隣人であり、人生の先輩であり、時に師です。 ・私達飯富病院の職員は医療、福祉、保健の職業人です。常に研鑽し、より良い技術を提供します。 ・過疎地に生活する人、この地を離れて生活する人達が飯富病院がこの地にあることを誇りに思うような病院を目指します。 <p>以上の基本理念で伺えるように身延町、早川町は、沢つたいにある限界集落地帯であり無医地区としての長年の悩みがあった。その解決策として 2 町による一部事務組合立の病院が設立されたようです。ここでは、ケアホーム・ヘルパーステーション・訪問介護ステーション・居宅介護支援事業を併設しており、地域住民の医療、福祉の両面をカバーしているすばらしい病院でした。</p> <p>経営の威容においても一般会計からの繰り入れがなくとも黒字経営をしており公立の病院では考えられない内容でした。</p> <p>医師の確保については、自治医大出身者を募っており、自治医大出は地域医療に根ざしている医師が多いとのことでした。</p> <p>院長の説明の中で感銘した事柄をいくつか紹介したいと思いますが、中核病院と地域病院の違いを明確にして、中核病院は外来を行い、地域病院に患者を紹介するようなシステムを広域で検討すべきである。また、地域病院は、大きな総合病院である必要はない。全国的に医師不足が深刻になっているが特に不足しているのが総合医でありその育成が重要である。</p>